

ISBN978-4-7615-2462-3
C0052 ¥2300E

定価 本体2300円+税

5333



9784761524623



1920052023002

サステイナブル・スイス

未来志向のエネルギー、建築、交通

滝川 薫
Kaori Takigawa



サステイナブル・スイス

未来志向のエネルギー、建築、交通

滝川 薫
Kaori Takigawa

Nachhaltige Schweiz
Energie, Architektur, Mobilität auf dem Weg in die Zukunft

学芸出版社

Nachhaltige Schweiz
Energie, Architektur, Mobilität auf dem Weg in die Zukunft

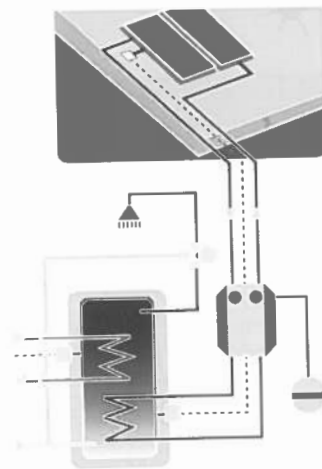
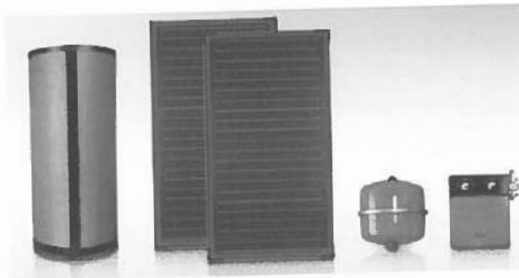


図 15 「今 100」で促進されている太陽熱温水器の給湯設備。左は給湯用ユニット (5m²のパネル2枚、500ℓの蓄熱タンク、制御装置等)。写真・図は Buderus 社のもの。出典：Buderus AG

IEU 社と共に同モデルをスイス中に普及させることに乗り出す。スイスエネルギー未来連盟とは、バーゼル地方の電力供給会社 4 社により、再生可能エネルギーの促進を目的として設立された連盟だ。「今 100」の普及におけるスイスエネルギー未来連盟の役割は、資金集めである。仲間の電力会社や環境投資を行っている銀行、そして州などにスポンサーになるように働きかけ、これまでに 5000 万円の資金が「今 100」プロジェクトに集まったという。そしてパートナーの IEU 社が、実際のプロジェクトの段取りや広報を担当し、地域ごとにアドバイザーや業者をまとめあげる。

こういう自治体はほとんど何もしていないようだが、実は自治体が住民の窓口となることがこのプロジェクトの肝心な点なのだ、とスイスエネルギー未来連盟事務局のエネアス・ヴァンナーさんは語る。

「住民にとっては、自治体や州が参加していることが信頼の証なのです」

確かに村や町の役場は、住民にとってとても身近な場所だ。それに、自治体が勧めるということは、単なるメーカーのセールスキャンペーンとは違う重みがある。自治体が派遣するアドバイザーが、特定のメーカーの手先でない中立の立場にあることも施主にとっては嬉しい。

「今 100」キャンペーンに自治体が参加する費用として支払うのは、人口 1 人あたりわずか 1 フラン (約 100 円)、と無料に近い設定だ。あとの費用はスポンサーとメーカーが負担する。このような資金調達方法を見出すことで、どんなに財源の少ない自治体でも再生可能エネルギーを増やすことができる。従来の再生可能エネルギーへの補助金とはまったく違う方法を取り、補助金にはないスピードと組織力が画期的な「今 100」モデル。将来的には、太陽熱温水器に限らず、他の再生可能エネルギー源にも適用して、全国各地で展開されていく予定だ。



2005年に建てられたエネルギー・P基準の美しいメツラー邸。写真：Bauatelier Metzler

CHAPTER 2 快適で美しく経済的なエコ建築

Oekologische, energieeffiziente Architektur